



競輪の補助事業

この事業は、競輪の補助により実施しています。  
<https://hojo.keirin-autorace.or.jp/>

< オリンピック・ムーブメント事業 >

# JOCオリンピック教室

## 実施報告書

石川県 白山市立白嶺中学校



公益財団法人 日本オリンピック委員会



## 「オリンピック教室」の実施にあたって

平成21年4月の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和5年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 目的： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、  
オリンピック自身の様々な経験を通して  
「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、  
この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、  
日常生活にも活かすことの出来るものであることを授業を通して学習してもらう。
- 事業名： JOCオリンピック教室
- 主催： 公益財団法人日本オリンピック委員会(JOC)
- 後援： スポーツ庁
- 協力： 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対象： 中学2年生
- 講師： オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）※派遣オリンピックはJOCが選定
- 期間： 2023年4月～2024年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数： 80校程度
- 実施方法： クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

## 1コマ目 運動の時間 / 50分

身体を動かしながら生徒との距離を縮め、  
チームワーク、フェアプレー、身体を動かす  
ことの楽しさ等を感じてもらいます。



## 2コマ目 座学の時間 / 50分

競技者人生を振り返り、自身が感じた  
オリンピックの価値を生徒に伝え、  
オリンピックをより身近に感じてもらいます。



## 1コマ目

## 運動の時間 / 50分

オリンピックの専門競技の技術指導(=スポーツ教室)ではなく、  
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶(5分)

準備体操(10分)

主運動(30分)

まとめ(5分)



自己紹介  
学習内容の確認



準備体操



主運動  
(作戦タイム等を設け、  
生徒が考える機会を作る)



運動の時間のまとめ

## 2コマ目

## 座学の時間 / 50分

国際オリンピック委員会(IOC)が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

挨拶・自己紹介(10分)

オリンピックの価値を伝える(10分)

グループワーク(20分)

まとめ(10分)



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



個人またはグループワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ  
記念撮影(クラス写真)

※時間は目安です。  
※内容はオリンピックによって変動する場合があります。

### ●時間割について

- ・1クラスにつき、運動の時間+座学の時間の順に、2時間連続で実施します。
- ・1コマ目の運動の時間は体育館で、2コマ目の座学の時間は当該クラスの教室で行います。
- ・原則1クラスの場合は3-4時限目、2クラスの場合は3-6時限目、3クラスの場合は1-6時限目の調整となります。
- ・1日に実施できるクラス数は最大3クラスまでです。4クラス以上実施する場合は2日間以上の調整となります。
- ・同じ時間に複数クラスを実施することはできません。

■オリンピック：岡里明美先生（バスケットボール）【出場オリンピック／アトランタ1996大会】

■期 日：2023年10月20日（金）

■クラス：全学年合同／運動の時間

○自己紹介～授業の目的確認～準備体操



・バスケットボールでアトランタ1996大会に出場したと自己紹介。オリンピックバリューについて、エクセレンス：「卓越」、フレンドシップ：「仲間」「友情」、リスペクト：「尊敬」と紹介する。運動の時間では、この3つの言葉を意識しながら、失敗を恐れずに思い切り取り組んでほしいと伝える。準備運動は、バスケットボールに慣れるための「ボールハンドリング」を実施。その後、先生の合図に合わせて体の部位を触り、「ボール」の合図で素早くボールを取り合う「ボール取り競争」を2人組または3人組で実施。

○主運動等



・1つ目の主運動は、「パス回し競争」を実施(全3回)。チームで円を作り、足踏みをしながら両隣以外の人にパスを回す。途中でボールを落としたら1から数え直し、20秒間で連続でパスできた回数を競う。2回目からボールを2個に増やし、実施前に練習と作戦タイムを設ける。終了後、どのような作戦を立てたか生徒に問い掛けると、「3人組を作ってパスを出した」「ボールの軌道を上と下に分けてぶつからないようにした」等の回答がある。全チームが回数を増やすことに成功し、仲間と考えた作戦が結果に結びついていると称え、全員で拍手を送り合う。



・2つ目の主運動は「シュート競争」を実施(全3回)。ゴール前にグループで並び、1人ずつシュートを打ち、5球終わるまでの順位を競う。アーチを描くようにシュートするとよいと、先生が見本を披露して説明し、作戦タイムを設けてから実施する。2つの主運動を通して、皆が真剣に取り組んでいたため接戦となり、全チームが1回は優勝できたと話す。簡単なゲームでも、一生懸命やると楽しいし、自分の中に残るものがある。座学の時間では、オリンピックの価値を更に深掘りしたいと伝え、授業終了。

■オリンピック：岡里 明美 先生 (バスケットボール) 【出場オリンピック／アトランタ1996大会】

■期 日：2023年10月20日(金)

■ク ラ ス：全学年合同／座学の時間

○自己紹介～授業の目的確認～オリンピックの価値を伝える



・オリンピックは、メダルやテレビの世界といった印象があるが、オリンピックバリューの「エクセレンス」「フレンドシップ」「リスペクト」は、多くの人が生きていく上で共有し共感するものだ。ピエール・ド・クーベルタンが近代オリンピックを創設した目的である世界平和や社会発展の実現は、この3つの価値とつながっている。皆も今日からオリンピックバリューに共通した行動や経験を日々重ねていくことで、社会に影響を与えていくことを忘れずに、広い視野で将来を見て歩んでほしいと話す。

○個人ワーク～グループワーク等



発問①：運動の時間を振り返り、オリンピックバリューに当てはめてみよう。

②：学校生活や日常生活を振り返り、オリンピックバリューに当てはめてみよう。

発表①：「最後まで諦めない」「皆で作戦を立てた」「ルールを守る」「他のチームを応援」「負けた時お互いに声を掛け合った」等

②：「早寝早起き」「勉強を頑張る」「駅伝で皆で協力した」「友達と喜び合う」「妹の世話をする」「家事をする」「校則を守る」等



・発表の時間では、オリンピックバリューについて沢山の回答を考えてくれたので、改めて身近に存在するものだと分かったと思う。今日の授業で見せてくれた積極性も大切にしてほしい。皆はこれから沢山の可能性を持っているので、自分を大切に、勇気を持って色々なことに挑戦し、チャンスを掴んでほしい。来年はパリ2024大会が開催されるので、オリンピックバリューやクーベルタンの想いを思い出しなが観戦し、オリンピックをより身近に感じてもらえたら嬉しいと伝え、授業終了。

■集合写真



■記念品贈呈



■修了証贈呈

